

目標 : ラグビーの文化や伝統を理解し、人間的にも成長できる組織となる。

紳士のスポーツと呼ばれる『ラグビー』。元々英国のパブリックスクールで、身体を鍛えるとともに、ジェントルマン育成のために行われていました。

愛鷹R F Cの具体的実践

1. レフリーの存在意義を理解し、心から尊重し敬意を示す。

19世紀のラグビーにレフリーはなく、両キャプテンが自チームの反則を確認していました。また、1人で30人を見ることは不可能だという発想がラグビーにはあります。レフリーに文句を言うのは絶対にやめましょう。意見があるときはキャプテンを必ず通しましょう。

2. ノーサイドの精神を具体的に行動に移す。

試合が終わった後は、ゲームの反省をしたり、自チーム応援メンバーへの挨拶をする前に、まずスリーチアーズにより相手チームの健闘を称えましょう。

3. アフターマッチファンクションで、相手チームと積極的に交流する。

試合が終わって後、相手と親睦を深めるまでがラグビーです。ホームでは、小さな練習試合でも簡易式アフターマッチファンクションを行いましょ。自チームで固まらずに積極的に交流をすることで、ラグビーをより楽しむことができます。

ジェントルマンシップとは、相手に敬意を示し、思いやりの心を持って行動することができることです。これが真のラグーマンの姿です。

ラグビーだけでなく、社会生活においても大事にしていきたいものです。

愛鷹R. F. Cでのラグビーを通じて、プレー技術とともに、ジェントルマンとして人間的にも皆で成長していこう！

■スリーチアーズ (H i p H i p H u r r a h 万歳三唱の意味)

スリー・チアーズ・フォー 愛鷹ラグビーフットボールクラブ

hip hip hurrah, hip hip hurrah, hip hip hurrah,
(ヒップ ヒップ フレー)

* 私たちの手本となる、『立教ラグビー宣言』を掲げ、実行している立教大学ラグビー部に敬意を表します。

<参考> 立教ラグビー宣言（2005年9月）

1. 立教は、たとえルールで禁じられていないことでも、フェアの精神で自らを律してプレーします。
2. レフリーの存在意義を正しく理解し、心から尊重します。意見があるときは必ずキャプテンを通します。
3. ノーサイドの精神を具体的行動に移し、相手への敬意を示します。
4. アフターマッチファンクションでは、決して自チームで固まらず、相手と積極的に交流します。
5. ホームでは、たとえどんなに小さな練習試合でも、必ず簡易式アフターマッチファンクションを行います。
6. 生涯、これらの精神を遵守します。